

ちえとまなぶの ず〜っと 役立つお金の話

～キャッシュレス決済に挑戦してみよう!～

解説書

(授業展開例・ワークシート付き)

POINT 1

キャッシュレス決済の
買い物が体験できる

POINT 2

多様な支払い方法で、
1か月間の金銭管理が
体験できる

POINT 3

契約のルールや
クレジットカードの
仕組みについて
学習できる

はじめに

東京都消費生活総合センターでは、学校でのインターネット環境が整備されたことを受けて、毎年度、Web版の教材を作成しています。

今年度作成した教材の前作にあたる「ちえとまなぶのず～っと役立つお金の話」は平成28年度に作成しました。6年経過した現在でも、とてもよく活用されている教材です。しかし、この数年でキャッシュレス決済が急激に普及したことや、平成31年に特別支援学校高等部の学習指導要領が改訂されたことを踏まえ、この度、キャッシュレス決済も含めた金銭管理と契約の基礎知識について学習できる教材を作成しました。具体的な特徴は以下のとおりです。

- 1.キャッシュレス決済の買い物が体験できる
- 2.多様な支払い方法で、1か月間の金銭管理が体験できる
- 3.契約のルールやクレジットカードの仕組みについて学習できる

Web版の教材のメリットは、Web上の主人公になって疑似体験を何度もできることです。本教材では、まずはキャッシュレス決済を体験し、楽しみながらも生徒自身が「キャッシュレス決済で金銭管理することの難しさ」を感じることに主眼を置いています。また、平成28年度の教材と合わせて活用いただくことで、より一層効果を高めることができると考えております。本教材が消費者教育の一助になれば幸いです。

令和6(2024)年3月 東京都消費生活総合センター

目次

1 特別支援学校における消費者教育の必要性

- 1.民法の成年年齢の引き下げと学校における消費者教育の必要性 1
- 2.東京都の特別支援学校における消費者教育の取組 1

2 教材紹介

- 1.Web版消費者教育読本の使い方 2～7

3 指導者のための押さえておきたい知識

- 1.キャッシュレス決済の基礎知識 8
- 2.キャッシュレス決済のメリット・デメリット、トラブル事例 9
- 3.クレジットカードを利用する際の注意点 11、12
- 4.契約の基本と消費者トラブル 12、13
- 5.「見えないお金」と付き合うために 14、15

4 特別支援学校の消費者教育の取り扱い

- Web版読本を用いた都立知的障害特別支援学校中学部・高等部における各教科等の 16、17
消費者教育の扱いについて(例)

5 授業展開例及びワークシート

- 1.ステージ1を活用した家庭科での授業展開例(難易度★) 18、19
- 2.ステージ1及びステージ2ステップ1を活用した家庭科での授業展開例(難易度★★) 20、21
- 3.ステージ3ステップ2を活用した家庭科での授業展開例(難易度★★★) 22、23
- 4.ステージ2ステップ2を活用した家庭科での授業展開例(難易度★★★★) 24、25

1. 特別支援学校における消費者教育の必要性

1 民法の成年年齢の引き下げと学校における消費者教育の必要性

平成30年6月13日、民法の成年年齢を20歳から18歳に引き下げること等を内容とする民法の一部を改正する法律が成立し、令和4年4月1日から施行されました。

成年年齢が引き下げられたことにより、特別支援学校高等部に在学する生徒についても、18歳を迎えると自らの判断で契約ができるようになりました。成年になると「未成年者取消権」の対象外となるため、高等部に在学する生徒についても消費者トラブルに巻き込まれる心配があります。そのため、在学中に、「消費者」として正しく判断して生活を営む実践力を身に付ける消費者教育の取組が必要となります。

現行の特別支援学校の高等部学習指導要領の中では、知的障害特別支援学校の各教科等の目標及び内容として、次のとおり消費者教育に関わる内容が示されています。

特別支援学校では、学習指導要領に基づいて具体的に指導内容を設定し、生徒が習得したことを実際の生活に役立てられるよう配慮しながら指導を行っています。

<特別支援学校の高等部学習指導要領(平成31年2月 告示)>(抜粋)

第2章 各教科

第2節 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校

第1款 各学科に共通する各教科の目標及び内容

〔職業〕

1 目標

職業に係る見方・考え方を働かせ、職業など卒業後の進路に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 内容

1 段階 A 職業生活

イ 職業

(ア)㉔ 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けること。

① 職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解すること。

(イ)㉕ 職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えること。

〔家庭〕

1 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2 内容

1 段階 C 消費生活・環境

ア 消費生活

(ア)㉔ 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くこと。

① 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること。

イ 消費者の基本的な権利と責任

(ア) 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くこと。

(イ) 身近な消費生活について、自立した消費者として責任ある消費行動を考え、表現すること。

2 東京都の特別支援学校における消費者教育の取組

東京都教育委員会では、「東京都特別支援教育推進計画(第二期)第二次実施計画～共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進～」【令和4年3月】において、責任ある個人として主体的に生きるための力の育成の具体的な取組として、特別支援学校における主権者教育・消費者教育の充実を示しています。

具体的には、消費者庁や東京都が作成しているリーフレットやWeb教材等について周知し、活用を図っています。また、各校の生活指導担当教員等を対象とした都立特別支援学校健全育成連絡協議会で、授業実践を取り上げ、好事例を共有する等、消費者教育に関する指導の充実に努めています。

引き続き、児童・生徒が、各教科を通じた学習活動や、係活動・委員会活動等の体験的な学習を通じて、自立した消費者として主体的に生きるための力を培うことができるよう、消費者教育の取組を推進していきます。

2. 教材紹介

注) 本教材は、消費者教育での使用に限り、無償で利用することが可能です。営利目的のための使用はお断りします。

1 Web版消費者教育読本の使い方

本教材は、授業で活用されることを想定して作成されています。授業に合わせて各ステージ、各ステップを好きなところだけ使うことができます。本編のほか、パワーポイント資料、ワークシート等をダウンロードできます。

POINT 1 キャッシュレス決済の買い物が体験できる

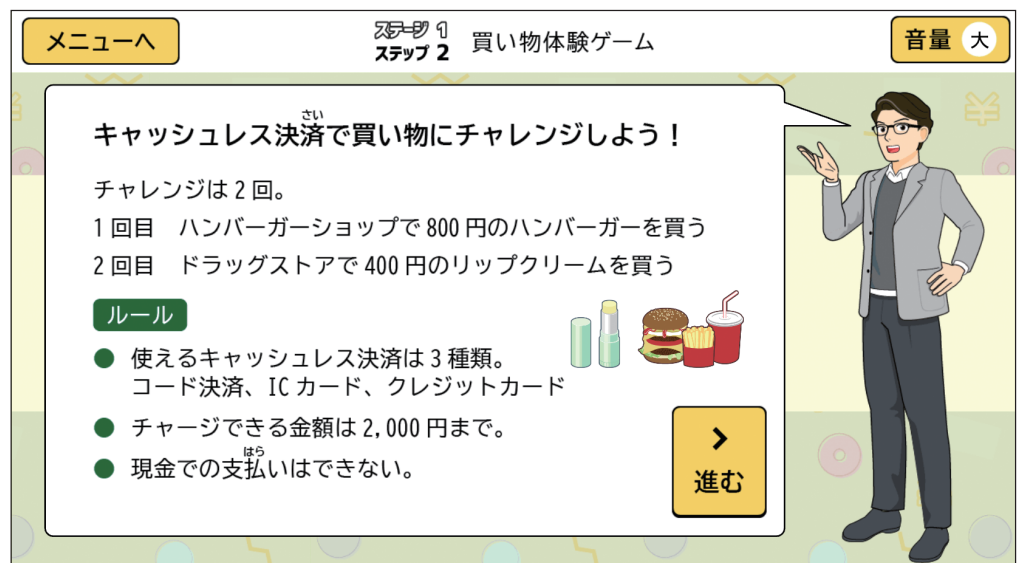
ステージ1「キャッシュレス決済を体験してみよう」では、Web上で、お店でのキャッシュレス決済が体験できます。

指導者による解説

ステップ1「買い物前に準備をしよう!」を全員で視聴し、キャッシュレス決済の基礎知識を学びます。



ステップ2「買い物体験ゲーム」のルールを全員で確認します。



生徒による操作
(一人一台端末)

前払いのキャッシュレス決済にチャージをします。
準備ができた生徒から
買い物に出かけます。



自分が使いたいキャッシュレス決済を選んで
買い物をします。



難易度 ★
キャッシュレス決済体験

01 キャッシュレス決済とは

キャッシュ + レス + 決済
(現金) を (使わない) (支払い) 方法

スマートフォン IC CARD CREDIT CARD

授業展開例 P.18 ワークシート P.19

03 キャッシュレス決済：前払いのコード決済やICカードの場合

1000 円 チャージ IC CARD 800 円 ビッ

買う人(消費者) 売る人(販売店)

ハンバーガーセット

買い物の(前)に、現金をチャージすることで買い物ができる。
※チャージする=入金すること

パワーポイント資料ST1-1「現金とキャッシュレス決済の違い」スライドのNo.1とNo.3

POINT2 多様な支払い方法で、1か月間の金銭管理が体験できる

ステージ2「キャッシュレス決済を使ってみよう」では、Web上でキャッシュレス決済を利用した1か月間の支払いと金銭管理の体験ができます。

指導者による解説

ステップ1「キャッシュレス決済のメリット・デメリット」を全員で視聴し、キャッシュレス決済の特長や注意点を学びます。

メニューへ ステージ2 ステップ1 キャッシュレス決済のメリット・デメリット 音量 大

キャッシュレス決済 2つのポイント

ポイント②

キャッシュレス決済の
メリット、デメリットを理解すると、
使い分けることができる。

自動再生
■ オフ

では、もう一つのポイントです。
まなぶさん、読んでください。

先生

＜ 戻る

キャッシュレス決済のメリット、デメリットを理解すると、
使い分けることができる。

＞ 進む

指導者による解説

ステップ2「1か月間の支払い方法体験ゲーム」のルールを全員で確認します。

メニューへ ステージ2 ステップ2 1か月間の支払い方法体験ゲーム 音量 大

休日の買い物を中心に、1か月間の支払いを体験してみよう！

ルール

- キャッシュレス決済の特徴を考えながら、支払い方法を選ぶ。
- 選べる支払い方法は4種類。
現金 / ICカード / コード決済 / クレジットカード
- 1週間後、2週間後で終了することも可能。

なお、このゲームは「卒業後、一人暮らしをする人」を想定しています。

＞ 進む

家庭科で使う

難易度 ★★

キャッシュレス決済って？

難易度★★の授業展開例では、キャッシュレス決済のメリット・デメリットだけでなく、トラブル事例を解説できるパワーポイント資料も充実させました。



授業展開例 P.20 ワークシート P.21

キャッシュレス決済のトラブル（例）

間違えてチャージをしてしまった

落としたり、なくしたりしてしまった

利用した覚えのない請求が来た

パワーポイント資料ST2-1「キャッシュレス決済のメリット・デメリット」スライドNo.10

指導者による
解説

黄色の各ボタンについて説明します。体験ゲームは1か月を通して行うことも、途中の1週間、あるいは2週間でやめることもできますので、あらかじめ指導者側で期間を指定してからスタートします。

「チャージ・現金引き出し」ボタン以外でも、日々のイベントの支払い時に、チャージや現金の引き出しが可能です。※1

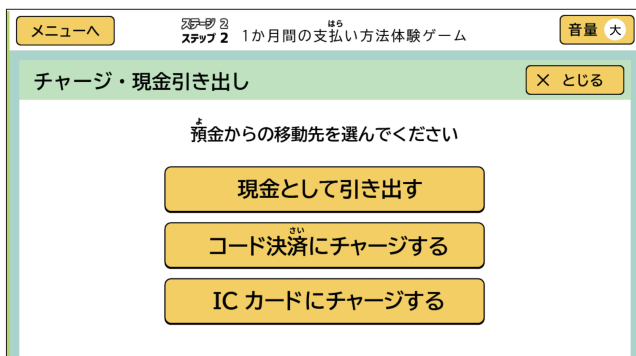


・実際の支払いと同様に、一度決めた選択はやり直すことはできません。
・銀行の残高が不足した場合はゲームオーバーとなります。(最初からやり直すことは可能です。)

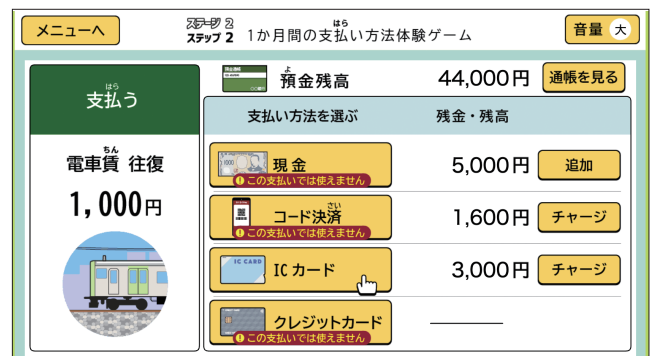
・30日のうち、カレンダーにマークのある日だけ、キャッシュレス決済の体験ができます。
・買い物はレジャーをメインに設定しています。

※1 チャージ・現金引き出し画面

カレンダー画面から



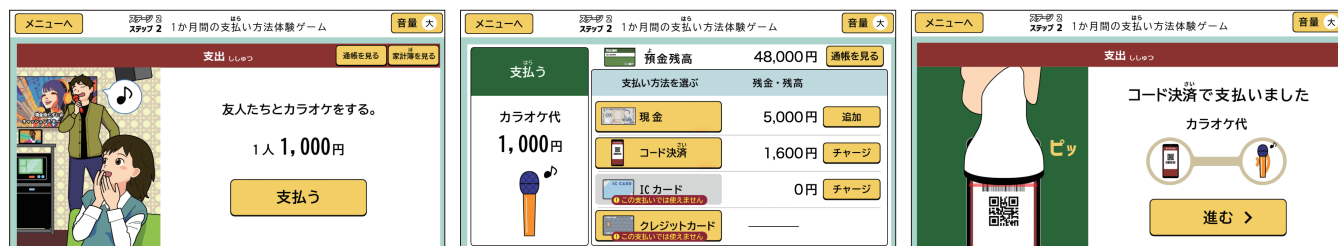
日々のイベント画面から



生徒による操作 (一人一台端末)

支払いが選択できるイベントでは、自分の意思でキャッシュレス決済の支払い方法を選びます。

コード決済を選択した場合の画面展開例



イベントには、1つの支払い方法しか選べない画面もあります。

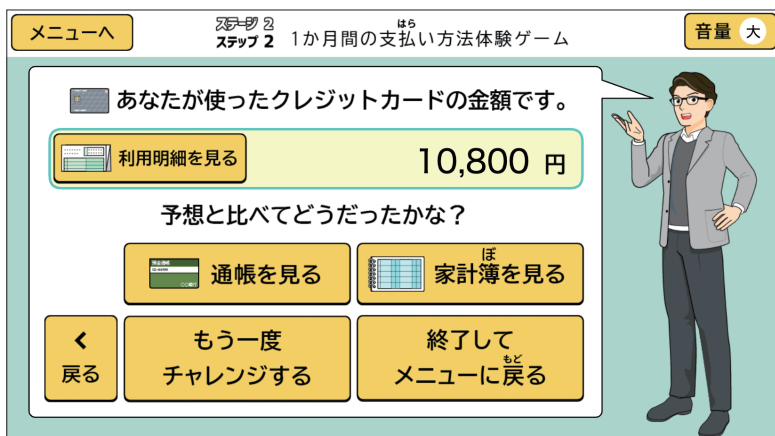
(例) ICカードしか選べない場合



(例) クレジットカードしか選べない場合



終了画面(1週間後、2週間後、1か月後)では、その時点でのキャッシュレス決済の残高とクレジットカード使用額を見ることができます。預金残高、家計簿も確認できます。



難易度 ★★★

1か月の消費生活体験



授業展開例 P.24 ワークシート P.25

キャッシュレス決済の総まとめの授業案を提案しています。

便利なところ	気を付けなければいけないところ
<p>〈解答例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金を持たなくても良い。 ・支払い手続きをすばやく行える。 ・これまでに買ったものがわかるので、お金の管理がしやすい。 	<p>〈解答例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を使ったことがわかりにくい。 ・IDやパスワードをしっかりと管理する。 ・クレジットカードは次の月に支払われる。

ワークシート④「1か月の消費生活体験」から

POINT3 契約のルールやクレジットカードの仕組みについて学習できる

ステージ3「みんなで考えよう! 困りごとにアドバイス」では、友達の困りごとにアドバイスを考えることで、契約のルールやクレジットカードの仕組みを学習することができます。


指導者による解説

ステップ1「買った商品を返品したい」を視聴し、右記のクイズに挑戦します。正解は「返品できない」ですが、現実には多くの人が返品の経験をしています。本編ではその理由について、契約のルールをもとに解説しています。

メニューへ

ステージ3
ステップ1 買った商品を返品したい

音量 大



お店で靴を買って帰ったら、
サイズを間違えたことに気づいたんです。
靴はまだ使っていません。
買った時のレシートも持っています。
お金を返してもらいたいのですが、
返品できますか？

返品したいな ...。

レシート

あなたはと思う？

返品できる

返品できない

戻る

視聴後、利益が相反する相手の立場や気持ちを考えるように促します。

契約のルールは、「買う人、売る人の両方の権利を守るために決められている」ことから、契約成立後はどちらか一方の都合では解約できないことを学びます。

契約のルール

返品できないのはなぜか、一緒に考えよう



ええ～、気に入っていたのに……
お金も払ったのに……。

靴1足 3,000円

やっぱり返してください。

買う人(消費者)

売る人

契約のルール

返品できないのはなぜか、一緒に考えよう



返品するので、
お金を返してください。

靴1足 3,000円

ええ～、
困ったなあ……
せっかく
売れたのに……。

買う人(消費者)

売る人


指導者による解説

ステップ2「クレジットカードで買いすぎた」を視聴し、右記のクイズに挑戦します。正解は「お金を借りること」と同じです。本編ではクレジットカードの仕組みについて、解説しています。

メニューへ

ステージ3
ステップ2 クレジットカードで買いすぎた

音量 大




考えてみましょう。
クレジットカードの利用は、
お金を引き出すこと、お金を借りること、
どちらと同じだと思う？

あなたはと思う？

お金を借りること

お金を引き出すこと

戻る



3. 指導者のための押さえておきたい知識

1 キャッシュレス決済の基礎知識

■キャッシュレス決済とは

キャッシュレス決済とは、現金を使わない支払い方法の総称です。キャッシュレス決済には、電子マネー（プリペイド）、デビットカード、クレジットカード、スマートフォン決済など、さまざまな種類があります。そして、多くの消費者が日常的に複数のキャッシュレス決済を利用するなど、私たちの生活に欠かせない存在となりつつあります。

キャッシュレス決済は便利である反面、金銭管理という観点からは現金とは異なる注意点が存在します。このため、キャッシュレス決済を便利に使いこなすためには、その種類や特徴を理解する必要があります。

■支払い方法の特徴(いつ支払うか)

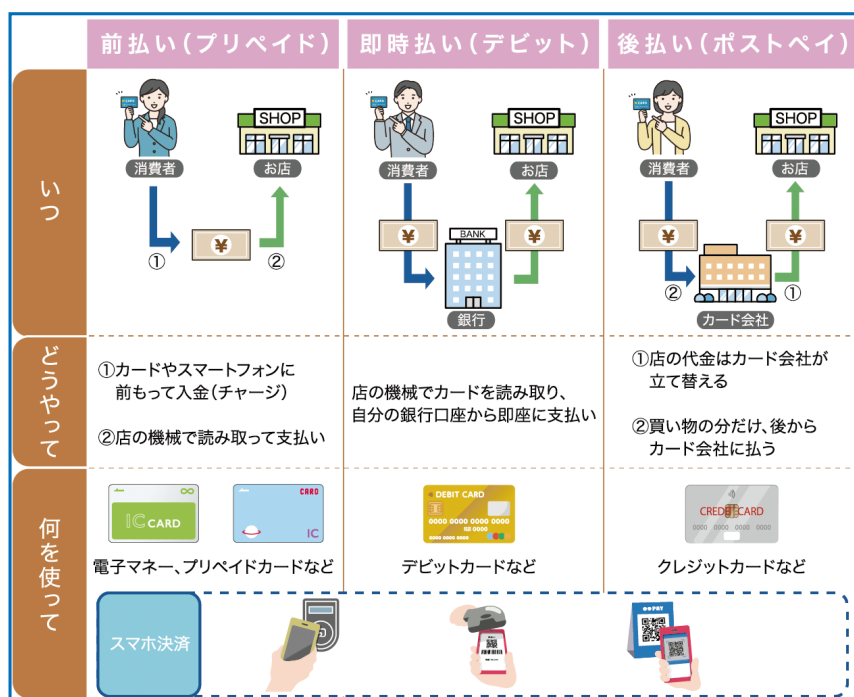
キャッシュレス決済の支払い方法には、「前払い」「即時払い」「後払い」の3種類があります。

金銭管理という観点でみた場合、「前払い」は事前にチャージした金額の範囲でしか利用できないため、使いすぎを防止することができます。

「即時払い」は、銀行口座の残高を超えて利用することはできませんが、逆にいえば口座の残高がゼロになるまで使えてしまう、ともいえます。このため、登録する銀行口座をどこにするか（給与支払い口座か、決済専用口座か）も重要なポイントとなります。

「後払い」は、後述のように、手持ちの現金や預金の額を超えて利用することができるため、金銭管理が難しく、使いすぎてしまうリスクがあります。

このように、それぞれの支払い方法にはメリット・デメリットがあるため、その特徴を理解し、どのカード（機能）がどの支払い方法かを把握した上で、使い分けが必要が必要です。もっとも、前払いであっても、クレジットカードと連携したオートチャージ機能を利用すれば、チャージ金額が後払いとなり、使いすぎてしまう可能性があります。また、1枚のカードにICカード機能とクレジットカード機能が搭載されているものなど、複数の機能を持つカードを利用する際には、自分がどの機能を使っているのかを意識して利用する必要があります。



経済産業省 キャッシュレスパンフレット(一般消費者向け)を参考に東京都が作成

■スマートフォン決済(スマホ決済)

スマートフォン決済(スマホ決済)には、QRコードやバーコードを読み込んで決済するコード決済の他、タッチ決済もあります。スマートフォンにはICカードと同じチップが組み込まれており、タッチ決済を利用することで、カードを持ち歩く必要がなくなります。

本教材で体験するコード決済は、現金や銀行口座からチャージする方法ですが、実際には、コード決済もタッチ決済も、登録したデビットカードやクレジットカードに紐付けすることができます。さらに、キャリア決済といって、商品等を購入した代金を携帯電話の利用料金と合算して支払う方法もあります。スマホ決済は、スマートフォン一つで管理できる一方で、決済手段の種類を増やすと、自分がどの機能を使っているのかわからなくなる危険があります。

2 キャッシュレス決済のメリット・デメリット、トラブル事例

■キャッシュレス決済のメリット

キャッシュレス決済のメリットとしては、まず支払い手続きが簡単ですばやく行えることが挙げられます。金額を確認して現金を渡し、お釣りを受け取る、という手間が省けるのは、大きなメリットといえます。また、銀行口座から現金を引き出す手間が不要となり、高額な買い物をするときも現金を持ち歩く必要がありません。さらに、記名式のICカードであれば、紛失した際にも未使用分のチャージ金額を返還してもらうことができます。

金銭管理の面では、いつでも利用履歴を確認することができるというメリットがあるので、そのメリットを十分に活用すべきです。

キャッシュレス決済 メリット

- 😊 支払い^{はら}手続きが簡単^{かん}、すばやく行える。
- 😊 現金を引き出す手間や持ち歩く必要がない。
- 😊 なくしても、記名式であれば未使用分の現金^{もど}が戻る。



なお、「ポイントが付く」というメリットが指摘されることがありますが、ポイントはキャッシュレス決済の「お金の価値」とは違います。事業者の都合でやめることも可能なものです。ポイントは「おまけ」と考え、ポイントに釣られてキャッシュレス決済用のアプリやカードを増やさないように注意することも大切です。

■キャッシュレス決済のデメリット

一方、キャッシュレス決済のデメリットとして、現金しか使えない店では利用できない、IDやパスワード等を盗まれて不正利用される危険がある、前払いの場合にはチャージをしていないと使えない、スマホ決済は電池が切れた場合には使えない、などがあります。

特に、金銭管理という観点からは、現金と比べて「いくら支払ったのか」という実感を持ちにくいという点です。現金で支払う場合、1,000円札を何枚出した、1,000円札ではなく1万円札を出した、という行為の違いにより、支出額の多寡を実感することができます。しかし、キャッシュレス決済では、100円の支払いでも1万円の支払いでも、カードやスマートフォンを「ピッ」とするだけなので、支出額の多寡を行為として実感することができません。このため、使いすぎのリスクは、現金での支払いより高まると考えられます。

日常生活における生徒の体験として「財布から現金が減っていく」と「スマホ画面で残高が減っていく」を比べた場合、どちらが支払う実感を持ちやすいのかを意識してもらうことも大切だと考えます。複数のキャッシュレス決済を併用するとより金銭管理が難しくなることも、後述するクレジットカードを使いすぎるリスクも、根本にある問題は共通しています。

キャッシュレス決済 デメリット

- | 前払い ^{ばら} | 後払い ^{せい} |
|---|--|
| ☹️ チャージしていないと使えない。 | ☹️ 後でまとめて請求 ^{めす} されるため、いくら使ったかわかりにくい。 |
| ☹️ ID やパスワード、カード番号などを盗まれると、不正利用される可能性がある。 | |
| ☹️ たくさんの種類を持ちすぎると、使いこなせない。 | |
| ☹️ 現金しか使えないお店がある。 | |



■キャッシュレス決済のトラブル事例

【間違えてチャージしてしまった】

前払いのキャッシュレス決済に、1,000円チャージしようと思ったのに1万円をチャージしてしまったとしても、一度チャージした金額は取り戻すことはできません。資金決済法は、原則として、前払式支払手段発行者による残高の払い戻しを禁止しているからです（事業自体を廃止するような場合を除く）。

このため、チャージをする際は金額をよく確認する必要があります。また、カードやスマホ決済のアプリを作りすぎないことも大切です。

【カードやスマホを紛失した】

支払い方法を問わず、キャッシュレス決済のカードを紛失したり、盗難に遭ったりした場合には、直ちに携帯電話会社や発行会社に連絡し、警察に紛失届を出します。記名式のカードであれば、発行会社は、紛失・盗難の連絡を受けるとすぐにそのカードを無効として、使用できないようにします。そして、クレジットカードやデビットカード等が紛失・盗難から届出までの間に不正利用されていた場合は、一定期間内であれば発行会社が損失を補償します。

【利用した覚えのない請求が来た】

利用した覚えのない請求が来たら、すぐにクレジット会社に連絡しましょう。後述のように、決済手段の情報が不正取得されている可能性が高いため、その決済手段を無効にして使用できないようにする必要があります。不正利用であることが認められれば、その利用分は発行会社が補償します。


決済手段の情報（クレジットカード番号、ID、パスワードなど）は、フィッシング詐欺、スキミング、架空のネットショップなどで盗まれます。このような被害に遭わないよう、メールやSMSの送信元を確認したり、信頼できる店舗やネットショップを利用したりすることを心がけましょう。

また、利用明細を丁寧に確認することも重要です。金銭管理のためだけでなく、不正利用がないかの確認のためにも、利用明細は必ず確認するよう指導してください。

東京都消費生活総合センター

間違えてチャージをしてしまった

一度チャージした金額は、原則取り戻すことが**（できない）**。



よく確認してから、チャージをする。
カードやスマホ決済のアプリを作りすぎない。

東京都消費生活総合センター

カードやスマホを落とししたり、なくしたりしてしまった



なくしたことに気づいたら、すぐに**（携帯電話会社）**や**（発行会社）**に連絡し、**（警察）**に紛失届を出す。

東京都消費生活総合センター

利用した覚えのないクレジットカードの請求が来た



20万円

ご利用代金請求明細書

160-0000000000000000 SYOUEI 5000株式会社
東京駅前地区消費生活センター 本社 / 東京都中央区千代田1-1-1
〒100-0001 電話番号 / 03-1234-5678 (代表)

請求年月	請求金額	支払期日	支払金額	残高
2000年01月	220,000円	2000年02月	220,000円	0円
2000年02月	5,500円	2000年03月	5,500円	0円
2000年03月	1,100円	2000年04月	1,100円	0円

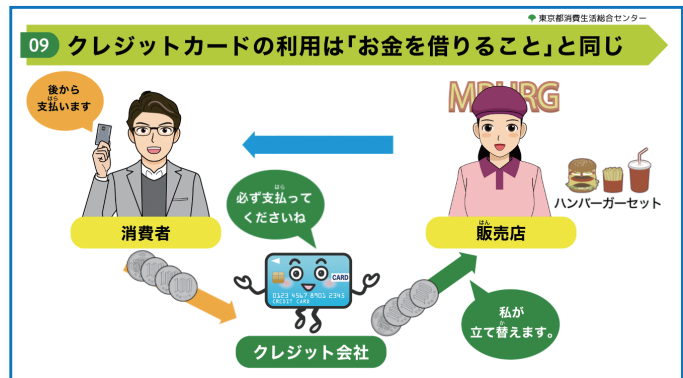
すぐに**（クレジット会社）**に連絡する。

3 クレジットカードを利用する際の注意点

■クレジットカードの仕組み～立替払い契約(三者間契約)～

クレジットカードは「後払い」の典型的な支払い方法です。「前払い」「即時払い」と比較して、詳しくみていきましょう。

- ① 消費者は商品を購入し、クレジットカードを利用して支払います。消費者は、すぐに商品を手に入れることができます。
- ② クレジット会社は販売店に代金相当額を支払います。これが「立替払い」です。
- ③ 消費者は、後日クレジット会社に利用代金を支払います。

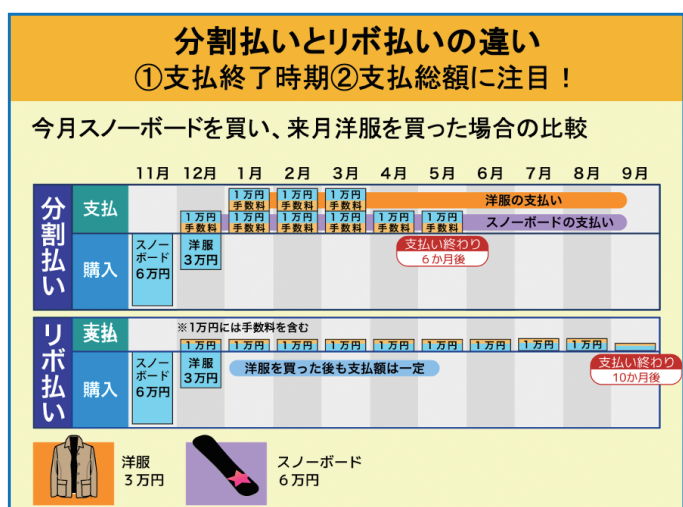


この立替払いの仕組みを理解していない人は意外と多く、消費者がクレジット会社に支払った後に、クレジット会社から販売店にお金を支払われていると勘違いしている人も少なくありません。つまり、クレジットカードの利用は、その日までクレジット会社にお金を借りているのと同じことなのです。

クレジットカードは、「前払い」「即時払い」そして現金払いと比べて、「その時点で現金や預金がなくても買い物ができるしまう」という大きな違いがあります。クレジットカードを利用すれば、その時点で手持ちの現金やチャージ金額、預金足りなくても、商品を購入することができてしまいます。そして、手元の現金や預金残高が減らないため、つい使いすぎてしまうリスクがあるのです。

また、クレジットカードの利用代金は、現金等のように都度支払うのではなく、利用時の翌月もしくは翌々月にまとめて請求されます。このため、金銭管理が難しくなります。現金や前払い等のキャッシュレス決済の利用金額に加えて、前月のクレジットカード利用額がいくらかを把握し、収入の範囲で管理する必要があります。さらに、利用した時には「来月の給料で十分に支払うことができる」と思っても、実際には予定外の支出が生じてしまうこともよくあります。

クレジットカードの支払いを分割払いやリボ払いにすると、金銭管理はますます難しくなります。分割払いとは、買い物をするたび支払い回数を決めて支払う方法、リボ払いとは「毎月〇〇円で」のように毎月一定額を支払う方法です。分割払いとリボ払いには手数料がかかります。これらを利用すると、手元資金が十分になくても大きな金額の買い物ができますが、何をいつまで支払うのかわからなくなったり、支払い総額を把握するのも困難になったりします。リボ払いの場合には、毎月の支払い額が一定なので、使いすぎのリスクがより高くなり、「気がついたら自分の収入では支払いきれない債務総額となっていた」というケースもよく見受けられます。本教材には、分割払い・リボ払いの仕組みを解説するパワーポイント資料や手数料計算ソフトも掲載していますので、金銭管理の難しさをぜひ実感してみてください。

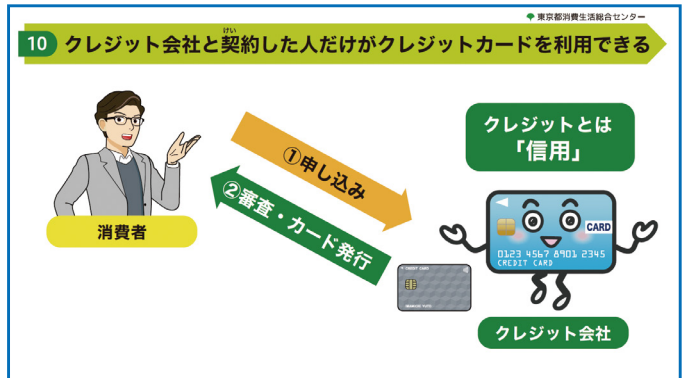


分割払いの条件: スノーボード 6 回払い、洋服 3 回払い

■クレジットカードを他人に利用させてはいけない、他人名義のクレジットカードを利用してはいけない

クレジットカードは、クレジット会社と消費者との間の会員契約に基づいて発行されます。このため、消費者はこの会員契約（それに付随する会員規約）に従って、クレジットカードを利用しなければなりません。

会員契約や規約には、「クレジットカードは名義人（会員）しか使用してはいけない」という趣旨の規定が数多く存在します。他人に貸したり譲渡したりしてはいけない、紛失した場合には直ちにクレジット会社に届け出なければならない、というのも同じ趣旨の規定です。既述のように、クレジットカードを利用することは、クレジット会社に借金をするのと同じことです。このため、クレジット会社は、クレジットカード発行の際、申込者の信用（支払い能力）を調査し、クレジットカードを発行するかどうかや利用限度額を定めます。このようにその人の信用をもとに契約したにもかかわらず、他人がクレジットカードを利用できてしまうと、クレジットカードの仕組みそのものが成り立たないのです。



「クレジットカードを他人に使わせてはいけない」ということは、「他人に使われないよう適切に管理しなければならない」ということです。多くのクレジット会社が、クレジットカードの管理に関する規定も置いています。例えば、子供が親のクレジットカードを利用してインターネット決済を行ってしまう、という事例は数多く見られます。このような場合に、親が利用代金の支払いを免れることができるケースはほぼありません。それは、親子だからという理由ではなく、クレジットカードの管理に問題があったからです。子供が利用できるように状況でクレジットカードを管理していた（例えば、クレジットカードを入れている財布をリビングに置いていた）ことの責任を問われるのです。

4 契約の基本と消費者トラブル

■消費者トラブル

人が消費生活を営む上で、さまざまなトラブルに遭うことがあります。それは、互いの認識の相違により生じるものから詐欺的なものまで、被害の程度も多様です。若者に多いトラブル事例としては、インターネット通販でのトラブル（届いた商品がイメージと異なっていた、全く別の商品が届いた、商品が届かないなど）、オンラインゲームでの高額課金、キャッチセールスによる高額なエステ契約、SNSで勧誘される投資や教材購入などがあります。

■契約の基本と消費者保護

私たちは、日常的に数多くの契約をしながら生活しています。金額の多寡や目的物の内容に関わらず、物を買ったりサービスを利用したりすることは、すべて契約です。契約とは法的に保護される約束のことです。契約が成立すると、その約束を守らなければならない義務（相手方からすると、約束を守ってもらえる権利）が発生します。契約は、申し込みと承諾の意思表示が合致することで成立します。契約書の作成は、契約の成立要件ではありません。口頭の申し込みと承諾でも、契約は成立します。お店で靴を購入する例を見てみましょう（少しわかりやすく説明します）。

3. 指導者のための押さえておきたい知識

消費者が靴をレジに持って行って店員の前に差し出す＝申し込み

店員が靴を受け取ってバーコードを読み取り、金額を告げる＝承諾

これにより、消費者とお店にはそれぞれ次のような権利と義務が発生します。



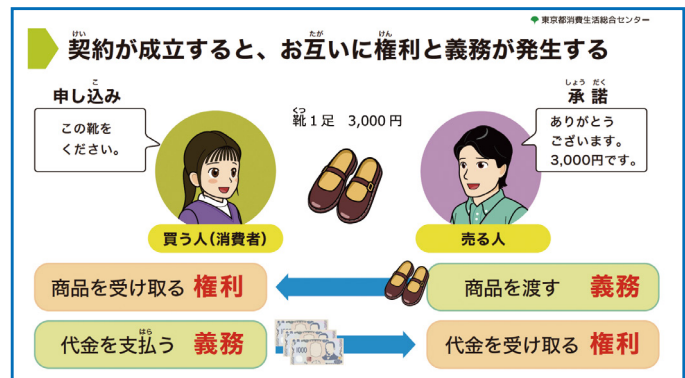
消費者＝代金を支払う義務・靴を受け取る権利

お店＝靴を渡す義務・代金を受け取る権利

一度契約が成立したら、一方的な都合で解約することはできない、というのが民法の原則です。勝手に解約できてしまうと、約束を守ってもらえると期待して準備した相手方に不利益が生じるからです。

ここで注意すべきは、民法が前提にしているのは「契約当事者は対等だ」ということです。しかし、実際には、消費者と事業者との間には、情報量や交渉力に大きな格差があります。

このため、消費者が契約の要否等を適切に判断できずに、契約をしてしまう場合があります。そこで、民法の特則（特別法）が定められています。例えば、特定商取引法、割賦販売法、消費者契約法などで、事業者を規制するルールや消費者を保護する制度を作り、消費者と事業者の格差を補っているのです。



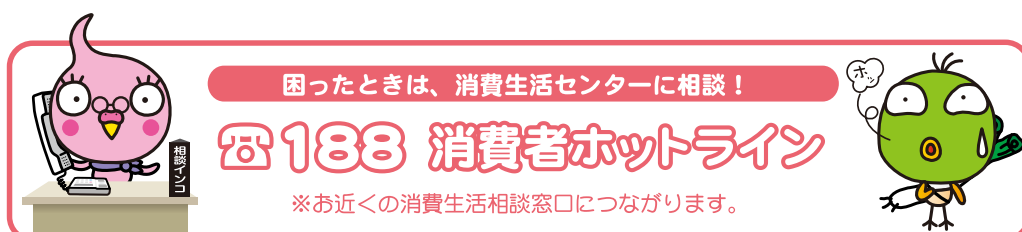
■消費者トラブルに遭ってしまったら

一人で悩まず、すぐに相談することが大切です。事案によっては、契約から一定期間内であれば、クーリング・オフ制度を利用して契約を解消することができる場合があります。また、不当な勧誘により契約させられた場合には、契約を取り消すことができます。

被害を一人で抱えようと、別の方法で取り返そうという心理が働き、（それを利用する悪質業者も存在するため）二次被害、三次被害と被害を大きくしてしまうことも少なくありません。その意味でも、早期の相談が重要なのです。

身近な相談相手として、家族や学校の先生の実在は大きいと思います。また、消費者ホットライン「188」に電話すれば、近くの消費生活センターにつながります。

消費者トラブルに遭うと、経済的な被害だけでなく精神的な被害も受けます。経済的な被害のダメージや被害回復できるかの不安、信じた勧誘者に裏切られたショックなど、学業や仕事に影響を及ぼす場合もあります。被害の事実を他人に相談することは、なかなか容易ではありません。見たことのない洋服やアクセサリーが増えた、スマホや携帯電話を手放さない、いつもより口数が少ない、イライラして落ち着かない、何かを言い出せずに困っている様子がある、などの兆候が見られたら、話を聞いてあげてください。



5 「見えないお金」と付き合うために

最近、「給料や年金は口座振り込み、支払いは口座自動引き落としやキャッシュレス決済」といった現金以外での取引が増えています。現金とは違い見たり触ったりできない、いわゆる「見えないお金」での取引により、知的障害者にも、さまざまな課題が生じています。

■事例1: 友人間でのお金の貸し借り～スマホのコード決済の「割り勘・送金」機能～

コード決済のいわゆる「割り勘・送金」機能は、割り算が苦手な知的障害者にとって「割り勘」が容易にできるため、「不公平な割り勘トラブルを減らすことができる」といったメリットがあります。その一方で、友人間等での貸し借りや「たかり」も、容易にできてしまうという危険性をはらんでいます。例えば友人に現金で1万円を渡す場合と、コード決済で1万円を送金する場合とでは、どちらが損をした感じになるでしょうか。

卒業前までに「見えないお金であっても、現金と価値は同じ(お金の貸し借りはしない)」という感覚を身に付けていく必要があります。



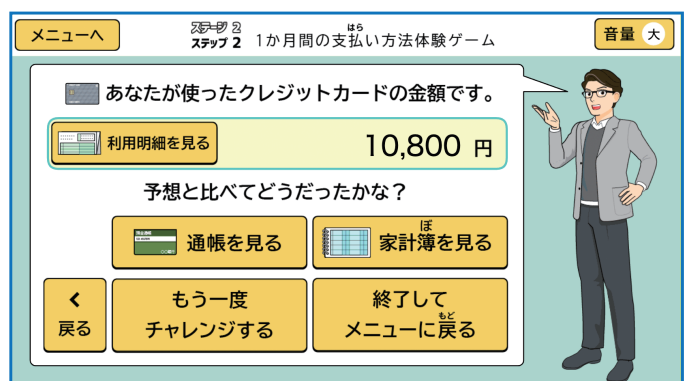
※コード決済の割り勘・送金機能はメリット・デメリットの両面を併せ持つ

■事例2: 自分がいくら使ったか把握できない①～後払いのクレジットカード決済、キャリア決済～

キャッシュレス決済の進行により、後払いのクレジットカード決済の利用が増えています。交通系ICカードのオートチャージ、携帯電話の使用料と一緒に買い物代金を支払うキャリア決済など、複数の後払いによる決済ができるようになりました。便利な一方で、「自分がいくら使ったか把握できない」「使いすぎにより電気料金など公共料金の口座引き落としができず、ライフラインを止められた」といった事例も増えています。

クレジット会社や携帯電話会社の支払いが滞ると、信用を失い、クレジットカードやスマホが利用できなくなります。場合によっては、将来自動車ローンや住宅ローンなどを組めなくなる可能性があります。

授業では「クレジットカードやキャリア決済を利用したら、その分の金額は、口座引き落とし日まで使わずに口座に残しておくこと」を伝えることが大切です。給料や年金が振り込まれる口座と、クレジットカードで支払う口座を別にするなどの方法もあります。



■事例3: 自分がいくら使ったか把握できない②～通帳や請求書のデジタル化～

銀行通帳やクレジット会社が発行する紙の請求書が有料となり、デジタル化が急速に進んでいます。ある支援機関では「電気供給停止の警告を受けた相談者が、スマホでの通帳の見方を忘れてしまい、通帳を見られない」という事例がありました。相談者は、紙の通帳のときは週1回程度の記帳をしていたのに、「デジタル通帳ならいつでも見られる」という安心感から、逆にほとんど見るのがなくなり、デジタル通帳の見方そのものを忘れてしまったものと思われます。

授業では「紙であれデジタルであれ、通帳を週1回程度、記帳・チェックすることが大切」と伝えたいものです。デジタルが苦手な人は、多少お金がかかっても紙の通帳や請求書を発行してもらうように助言するとよいでしょう。

■キャッシュレス決済には、メリットもある

キャッシュレス決済には、知的障害者の特性によって、以下のようなメリットもあります。

- 外出時に「必要な金額を想定して財布に現金を入れておく」という準備作業から解放される。
- 会計時に「財布から現金を出すのが苦手」という人にとっては、その手間から解放される。
- カードの機能をスマホに連携させることで、カードの紛失リスクが減る。
- 「一日に何度も銀行口座の入出金を行う」人にとっては、手数料の負担が軽減する。
- アプリごとに収支の記録が残るため、小遣い帳や家計簿をつける際の補助記録となる。
- 家計簿アプリを活用することによって、キャッシュレス決済の管理をスマホで一本化できる。

■1か月の収支をさまざまな支払い方法で管理する練習を！

下表は、Web 版読本の主人公である「ちえとまなぶ」の高校卒業後（20歳以降）の月収で、約19万円を想定しています。

軽度知的障害の生徒の多くは、高校等を卒業後、就職します。「自分のお金は自分で管理したい!」これは、ごく当たり前の気持ちでしょう。一方で、「長期記憶が苦手で見通しが持ちにくい」という知的障害者によくある特性がゆえに、キャッシュレス決済も含めた家計管理が、より難しく感じられるのも事実です。

Web版読本で例示した20歳以降の毎月の収入の計算根拠（東京都の場合）	
月収	190,390円
給与	119,000円
	119,000円 ÷ 140,238円 - 社会保険料 約21,000円（※2）
	140,238円 = 時給1,113円（※1）×6時間×21日（週5日）
年金等	71,390円
	71,390円 = 障害基礎年金2級 66,250円（※3）+ 年金生活者支援給付金 5,140円（※4）

※1 2023年10月改定の東京都最低賃金時給
 ※2 健康保険料 + 厚生年金保険料 + 雇用保険料の合計を給与の15%で計算した。
 ※3 障害基礎年金：795,000円（年間支給額）÷12か月=66,250円（2023年度の支給額）
 ※4 前年の所得が4,721,000円（扶養親族が0の場合）以下の場合に支給される。金額は、障害基礎年金2級の場合。

本教材は、まずはキャッシュレス決済を体験し、生徒自身が「キャッシュレス決済で金銭管理することの難しさ」を感じることに主眼を置いています。本人がキャッシュレス決済の特徴を理解して、収入の範囲で使いこなせるようになるのが一番ですが、上記のような事例が散見される場合は、「公的な支援を活用しながらキャッシュレス決済と付き合う」という選択肢もあります。

4. 特別支援学校の消費者教育の取り扱い

Web版読本を用いた都立知的障害特別支援学校中学部・高等部における各教科等の

学部	中学部			
教科	社会	職業・家庭	社会	職
ねらい	・公共施設や公共物などの働きを理解し、利用することができる。	・キャッシュレス決済（電子マネー・QRコード決済等）の使い方について学ぶ。	・情報を活用した産業の変化や発展について学ぶ。	・給料や年金、健康保険などについて学ぶ。
単元	・公共施設や公共物の利用	・キャッシュレス決済の利用	・情報の活用と私たちの生活	・健康管理・余暇の過ごし方
主な学習内容	・交通機関等を含む公共物の社会での働きや役割を知る。	・現金を使った支払いとキャッシュレス決済の違いを知る。	・情報活用の変化と産業の発展の関わりを知る。	・給料や年金の制度について学ぶ。
	・ICカードを利用して交通機関を利用する方法を知る。	・キャッシュレス決済を適切に利用する方法を知る。	・インターネットやICカード等による私たちの生活の変化を学ぶ。	・給料や年金、健康保険の取り扱い方を学ぶ。
	・ICカードの入金（チャージ）の方法や自動券売機で目的地までの乗車券を購入する方法を知る。			
指導の工夫	・模擬体験教材等を活用し、実生活に活かせる力を身に付ける。	・生徒が興味・関心をもち、理解しやすい教材やワークシートを準備する。	・具体的な場面を設定し、実生活と関連づかせて学ぶ。	・具体的な場面を設定し、理解しやすい教材やワークシートを準備する。
Web版読本での取り扱い	ステージ1 キャッシュレス決済を体験してみよう	ステージ1 キャッシュレス決済を体験してみよう	ステージ2 キャッシュレス決済を使ってみよう	ステージ2 キャッシュレス決済を使ってみよう

消費者教育の扱いについて(例)

高等部				
業	家庭			情報
・ネットワークを使用したキャッシュレス決済の適切な使用	・キャッシュレス決済(電子マネー・QRコード決済等)の特徴が分かり、適切に使うことができる。	・計画的な金銭管理について学ぶ。	・クレジットカードなどの三者間契約について学ぶ。	・情報技術の発展と社会の変化について学ぶ。
・個人情報の取扱い	・キャッシュレス決済の特徴と適切な利用	・金銭管理	・消費者の基本的な権利と責任	・消費者の基本的な権利と責任
・ネットショッピングの際のクレジットカードの使用について学ぶ。	・キャッシュカード、電子マネーなどの仕組みを理解する。	・生活に必要な金額を知り、金銭管理を学ぶ。	・二者間契約と三者間契約の違いが分かる。	・情報技術の発展とキャッシュレス決済の関連について学ぶ。
・キャッシュレス決済を使用する際の個人情報の取扱いについて学ぶ。	・QRコード決済やICカードの入金方法を知る。	・家賃や食費など、生活費について知る。	・クレジットカードの仕組みが分かる。	・キャッシュレス決済等の活用による生活の変化について学ぶ。
・具体的な事例を通し、体験的な学習を行う。	・生徒が興味・関心を持ち、理解しやすい教材やワークシートを準備する。	・教科書や写真、具体物を利用する。 ・金銭の流れについて視覚的にわかる教材を活用する。	・より具体的な場面を設定し、将来の生活と関連付けて学ぶ。	・生活に生かすことのできる知識を得るとともに、模擬体験教材等を活用し、実生活での活用法を身に付ける。
ステージ2 キャッシュレス決済を使ってみよう	ステージ1 キャッシュレス決済を体験してみよう	ステージ2 キャッシュレス決済を使ってみよう	ステージ3 みんなで考えよう！ 困りごとにアドバイス	ステージ2 キャッシュレス決済を使ってみよう

5. 授業展開例及びワークシート

1 ステージ1を活用した家庭科での授業展開例(難易度★)

■題材名 キャッシュレス決済

- 目 標
- ・現金での支払い、キャッシュレス決済など、多様な支払い方法があることを知る。(知識及び技能)
 - ・現金とキャッシュレス決済の違いに気付く。(思考力・判断力・表現力)
 - ・キャッシュレス決済のよりよい使い方を考えることができる。(主体的に学習に取り組む態度)

■題材の指導計画と評価計画(全3時間)

時間数	1時間目	2時間目	3時間目
小題材名	お金の支払い方のいろいろ	キャッシュレス決済って? ※ステージ1 ステップ1	キャッシュレス決済体験(本時) ※ステージ1 ステップ2

■小題材名 キャッシュレス決済体験

■小題材のねらい キャッシュレス決済の種類とその特長を理解する。

■本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでのおさらい ●本時の内容、目標の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ◎前回のまとめ「キャッシュレス決済って?」で示したポイントについて再度確認する。 ◎キャッシュレス決済をWebで体験することを伝える。 	前回の資料、プリント、ワークシート等
目標:キャッシュレス決済を体験し、使い方を学ぼう。			
展開Ⅰ 15分	●Web版読本ステージ1ステップ2「買い物体験ゲーム」に挑戦する。	<ul style="list-style-type: none"> ◎キャッシュレス決済の準備ができた生徒から買い物体験ゲームに挑戦する。 ◎ゲームが終了した生徒から、ワークシート①1の支払ったキャッシュレス決済に○を付けるよう促す。 	Web版読本ステージ1ステップ2 ワークシート①1
展開Ⅱ 15分	●パワーポイント資料ST1-1「現金とキャッシュレス決済の違い」の解説を聞きながら、ワークシート①2に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ゲームの体験を踏まえ現金とキャッシュレス決済の違いについて、パワーポイント資料を用いながら説明し、理解を促す。 ◎生徒の理解を確認する。 	パワーポイント資料ST1-1 ワークシート①2
まとめ	●ワークシート①3、4に取り組み、現金とキャッシュレス決済の違いや便利な使い方について、ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ◎ゲームの体験で感じたことを記入するように促す。 ◎キャッシュレス決済を使用すると便利な場面について具体的に提示する。 	ワークシート①3、4

ワークシート①「キャッシュレス決済を体験し、使い方を学ぼう」

月 日 () 年 組 名前

- 1 Web版読本を視聴し、キャッシュレス決済での買い物にチャレンジしましょう。あなたは、どの支払い方法で買いましたか。支払ったキャッシュレス決済に○を付けましょう。

・ ハンバーガーセット 800円

() () ()

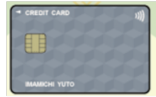
コード決済



ICカード



クレジットカード



・ リップクリーム 400円

() () ()

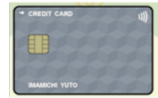
コード決済



ICカード



クレジットカード



- 2 ()に当てはまる言葉を書きましょう。

キャッシュレス決済とは、(**現金**)を(**使わない**)(**支払い**)方法のことである。

キャッシュ + レス + 決済

前払いのコード決済やICカードは、買い物の(**前**)に、現金をチャージしてから買い物をする。

※チャージする：入金すること

クレジットカードは、買い物した(**後**)に、クレジット会社にお金を支払う。

- 3 キャッシュレス決済は現金での買い物と比べて、どこが違いましたか。

- 4 キャッシュレス決済は、どんな時に使えると便利ですか。

2 ステージ1及びステージ2 ステップ1を活用した家庭科での授業展開例(難易度★★)

■題材名 消費生活と金銭管理

■目 標 ・契約についての基礎知識を学ぶとともに、二者間契約と三者間契約の違いについて理解する。(知識及び技能)
 ・多様な支払い方法のそれぞれの特徴を踏まえ、計画的な金銭管理について考える。(思考力・判断力・表現力)
 ・1か月の収支を基に、より効率的な金銭管理をしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

■題材の指導計画と評価計画(全4時間)

時間数	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
小題材名	お金の支払い方	キャッシュレス決済って? (本時)	契約ってなに?	1か月の消費生活体験

■小題材名 キャッシュレス決済って?

■小題材のねらい キャッシュレス決済の種類と特徴を理解する。

■本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでのおさらい ●本時の内容、目標の説明 	<ul style="list-style-type: none"> ◎前回のまとめで示したポイントについて再度確認する。 ◎キャッシュレス決済とは何か、キャッシュレス決済をWebで体験することを伝える。 	前回の資料、プリント、ワークシート等
目標:キャッシュレス決済の種類、その利点と注意点を知り、正しい使い方を学ぼう。			
展開Ⅰ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ●Web版読本ステージ1ステップ1「買い物前に準備をしよう!」、ステップ2「買い物体験ゲーム」に取り組む。 	◎キャッシュレス決済の準備ができた生徒から買い物体験ゲームに取り組む。	Web版読本ステージ1ステップ1、ステップ2
展開Ⅱ 20分	<ul style="list-style-type: none"> ●Web版読本ステージ2ステップ1「キャッシュレス決済のメリット・デメリット」を全員で視聴する。 ●パワーポイント資料ST2-1「キャッシュレス決済のメリット・デメリット」を全員で視聴する。 ●ワークシート②1、2、3に取り組む。 	◎パワーポイント資料を見せるときに、「キャッシュレス決済とは何か」、「キャッシュレス決済の前払い、即時払い、後払いのそれぞれの特徴や違い」、「キャッシュレス決済のトラブル事例と対処法」について説明を加え、理解を促す。	Web版読本ステージ2ステップ1 パワーポイント資料ST2-1 ワークシート②1、2、3
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシート②4に取り組む、現金での買い物と比較して、キャッシュレス決済の特徴を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎生徒の理解を確認する。 ◎次回の予告。次回学習をすることを伝える。 	ワークシート②4

ワークシート②「キャッシュレス決済^{さい}って？」

月 日 () 年 組 名前

- 1 ()に当てはまる言葉を書きましょう。

キャッシュレス決済とは、(**現金**) を (**使わない**) (**支払い**) 方法のことである。

キャッシュ + レス + 決済

【3種類のキャッシュレス決済】

○**前払い^{ばら}のコード決済やICカード**は、買い物の(**前**)に、現金をチャージしてから買い物をする。

※チャージする：入金すること

○**デビットカード**は、買い物と(**同時**)に、自分の口座から、お金を支払う。

○**クレジットカード**は、買い物した(**後**)で、クレジット会社にお金を支払う。

- 2 以下のトラブルに巻き込まれた場合の対処法を考えて、()に当てはまる言葉を書きましょう。

一度チャージした金額は、取り戻^{もど}すが(**できない**)。

カードやスマホをなくしたことに気づいたら、すぐに(**携帯電話会社**)や(**発行会社**)に連絡^{らく}し、
(**警察**)に紛失^{ふんしつ}届^{とど}けを出す。

利用した覚えのない請求^{せいきう}が来たら、すぐに(**クレジット会社**)に連絡する。

- 3 キャッシュレス決済の注意点について、()に当てはまる言葉を書きましょう。

(**利用明細**)はこまめに確認^{にん}！

(**不正利用**)は即^{そく}対応！

(**ID** や **パスワード**)はしっかり管理！

- 4 キャッシュレス決済は現金での買い物と比べて、どこが違^{ちが}いましたか。

3 ステージ3ステップ2を活用した家庭科での授業展開例(難易度★★)

■題材名 消費生活と金銭管理

■目 標 ・契約についての基礎知識を学ぶとともに、二者間契約と三者間契約の違いについて理解する。(知識及び技能)
 ・多様な支払い方法のそれぞれの特徴を踏まえ、計画的な金銭管理について考える。(思考力・判断力・表現力)
 ・1か月の収支を基に、より効率的な金銭管理をしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

■題材の指導計画と評価計画(全4時間)

時間数	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
小題材名	お金の支払い方	キャッシュレス決済って?	契約ってなに? (本時)	1か月の消費生活体験

■小題材名 契約ってなに?

■小題材のねらい クレジット契約の仕組みを理解し、クレジットカードを利用する際の利点と危険性について考える。

■本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでのおさらい ●本時の内容、目標の説明 	◎クレジットカードの仕組みを理解し、契約のルールを守ることの重要性を学習することを伝える。	ワークシート
目標:クレジットカードの仕組みを知り、正しい使い方を学ぼう。			
展開Ⅰ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ●家族や周りの人がどうしてクレジットカードを使うことがあるのか、なぜクレジットカードを使うと便利なのかを考え、ワークシート③1に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎クレジットカードのメリットを伝え、「後で払う」仕組みの便利さを伝える。(セルフレジ、ETC、オートチャージ、インターネット通販) ◎一方で「ポイントがたまる」、「分割して支払う」ことにつられ、使いすぎる人がいることを説明する。 	ワークシート③1
展開Ⅱ 15分	<ul style="list-style-type: none"> ●Web版読本ステージ3ステップ2「クレジットカードで買いすぎた」を全員で視聴する。 ●クレジットカードクイズに挑戦する。 ●クレジットカードの仕組みを知り、使いすぎてしまう危険があることを知る。 ●事例の先輩はどのようなところに注意すればよかったかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎クレジットカードは「信用」であることから、「クレジットカードは立替払いをして買い物をする」ことを伝える。 ◎二者間契約と三者間契約の仕組みを説明する。 	Web版読本ステージ3ステップ2 パワーポイント資料ST3-2 ワークシート③2
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●学習内容を振り返り、「事例の先輩にアドバイスしてみよう」をワークシート③3に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎意見を共有する。 ◎トラブルに巻き込まれた時の対処法を伝える。 	ワークシート③3

ワークシート③「^{けい}契約ってなに？」

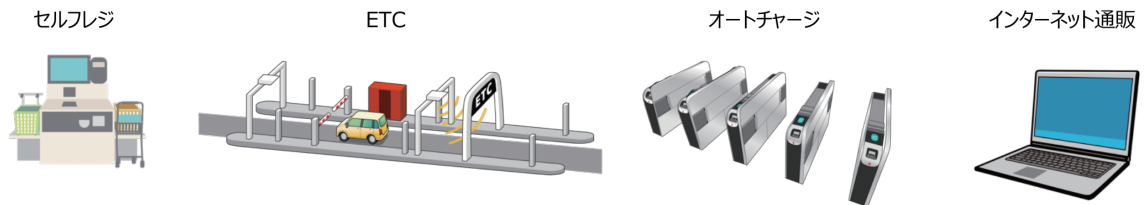
月 日 () 年 組 名前

1 クレジットカードの便利なところを次の選択肢から選び、当てはまる言葉を書きましょう。

(**現金**) を持っていなくても買い物できる。 (**インターネット**) での買い物ができる。
一度に支払わなくても、(**分割**) して支払うことができる。 (**ポイント**) がたまる。

選択肢： インターネット ポイント 分割 現金

◎クレジットカードの主な使用場面

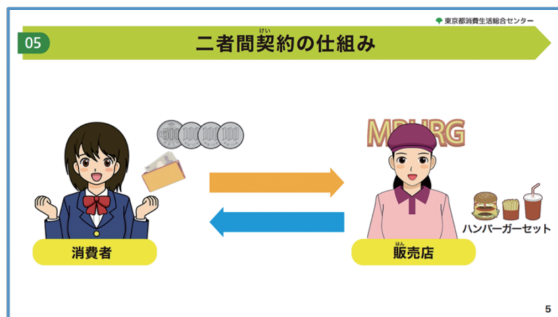


2 次の () に当てはまる言葉を書きましょう。

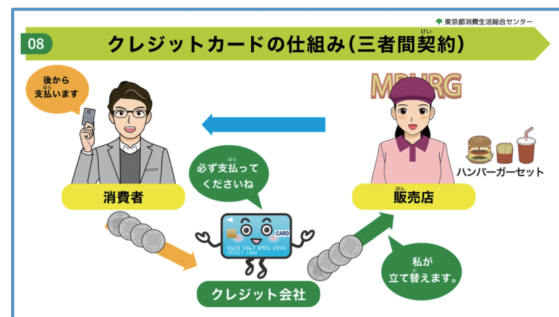
クレジットカードの利用は (**お金を借りる**) ことと同じである。

クレジットカードは (**後払い**) のため、便利な一方で、お金の管理が難しい。

二者間契約



三者間契約



自分とお店の人の間で契約（約束）をすることを二者間契約という。

自分がお店の人からモノやサービスを買ひ、クレジット会社が代わりにお金を払い、後で自分がクレジット会社にお金を返すことを三者間契約という。

3 クレジットカードで買い物をしすぎて返済に困ってしまった先輩にアドバイスをしてみましょう。

4 ステージ2ステップ2を活用した家庭科での授業展開例(難易度★★★)

■題材名 消費生活と金銭管理

■目 標 ・契約についての基礎知識を学ぶとともに、二者間契約と三者間契約の違いについて理解する。(知識及び技能)
 ・多様な支払い方法のそれぞれの特徴を踏まえ、計画的な金銭管理について考える。(思考力・判断力・表現力)
 ・1か月の収支を基に、より効率的な金銭管理をしようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

■題材の指導計画と評価計画(全4時間)

時間数	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
小題材名	お金の支払い方	キャッシュレス決済って?	契約ってなに?	1か月の消費生活体験(本時)

■小題材名 1か月の消費生活体験

■小題材のねらい キャッシュレス決済の利点を生かした金銭の管理について体験し、理解を深める。

■本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点	教材・資料
導入 10分	●これまでのおさらい ・さまざまな支払い方法があること ・キャッシュレス決済の特長と注意点 ・後払いのクレジットカードの特長と注意点 ●本時の内容、目標の説明	◎前回のまとめで示したポイントについて再度確認する。 ◎キャッシュレス決済を含む支払い方法を使った消費生活を体験することを伝える。	前回の資料、プリント、ワークシート等
目標:キャッシュレス決済の便利なところと気を付けなければならないところを考えて、1か月間の生活を体験しよう。			
展開Ⅰ 15分	●Web版読本ステージ2ステップ2「1か月間の支払い方法体験ゲーム」を体験する。	◎既習事項(キャッシュレス決済や現金払い、クレジットカード等、それぞれの支払い方法の特徴)を踏まえて支払い方法を選択できるように適宜助言する。	Web版読本ステージ2ステップ2 ワークシート④
展開Ⅱ 15分	●体験した感想をワークシート④1にまとめる。 <想定される回答例> ・キャッシュレス決済だとお金が減っていく感覚がもちにくい。 ・クレジットカードが翌月支払われることを考えていなかった。	◎支払い方法の違いについて、実際に体験してみてどう感じたかを表現できるよう促す。 ◎時間があれば一人一人発表して考えを共有する。	ワークシート④1
まとめ	●キャッシュレス決済の特長と注意点についてワークシート④2に記入する。	◎単元で学習してきたキャッシュレス決済の特長と注意点について、最後に確認する。	ワークシート④2

ワークシート④「1か月の消費生活体験」

月 日 () 年 組 名前

1 Web版読本「1か月の支払い方法体験ゲーム」で選択した支払い方法に○を付け、選んだ理由を書きましょう。

① コンビニでジュースとお菓子を買う。

支払い方法	選んだ理由
・現金 ・コード決済 ・ICカード ・クレジットカード	

② 友人たちとカラオケをする。

支払い方法	選んだ理由
・現金 ・コード決済	

③ ハンバーガーショップでハンバーガーセットを注文する。

支払い方法	選んだ理由
・現金 ・コード決済 ・ICカード ・クレジットカード	

④ 映画館でポップコーンと飲み物を買う。

支払い方法	選んだ理由
・現金 ・コード決済 ・ICカード ・クレジットカード	

⑤ ショッピングセンターで洋服を買う。

支払い方法	選んだ理由
・現金 ・コード決済 ・ICカード ・クレジットカード	

⑥ 家族の誕生日プレゼントを買う。

支払い方法	選んだ理由
・現金 ・コード決済 ・ICカード ・クレジットカード	

体験ゲームの感想を書きましょう。

2 キャッシュレス決済の便利などところと気を付けなければならないところを自分の言葉で書きましょう。

便利ところ	気を付けなければならないところ
<p>〈解答例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現金を持たなくても良い。 ・支払い手続きをすばやく行える。 ・これまでに買ったものがわかるので、お金の管理がしやすい。 	<p>〈解答例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金を使ったことがわかりにくい。 ・IDやパスワードをしっかりと管理する。 ・クレジットカードは次の月に支払われる。

平成28年度の「ちえとまなぶのず〜っと役立つお金の話」も合わせて活用すると、効果的です！

特別支援学校(高等部)・若者向け

Tokyo Metropolitan Government



平成28年度版Web版消費者教育読本「ちえとまなぶのず〜っと役立つお金の話」

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/center/kyoiku/web/sien02/>

令和5年度 Web版消費者教育読本

「ちえとまなぶのず〜っと役立つお金の話

～キャッシュレス決済に挑戦してみよう!～」

消費者教育読本作成検討会委員

小野 由美子	東京家政学院大学 現代生活学部 現代家政学科 教授
白石 裕美子	弁護士
古村 武人	教育庁指導部特別支援教育指導課 課長代理
山之内 勇人	東京都立南大沢学園 主幹教諭
丸尾 大樹	東京都立足立特別支援学校 主幹教諭

協力者

江國 泰介 社会福祉士

編集・発行

東京都消費生活総合センター

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ16階

Tel:03-3235-1157

東京くらしWEB <https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.lg.jp/>

デザイン

株式会社セルコ

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-5-2

Tel:03-3409-8923

発行年月日

令和6(2024)年3月 初版発行

登録番号 (5) 29